

<p>【技術の名称】 SB耐震杭e工法 -杭頭部鋼管巻き場所打ちコンクリート杭工法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第04-09号 性能証明発効日：2004年9月7日</p>
	<p>【取得者】 SB耐震杭協会 (代表会社：地建工業株式会社)</p>

【技術の概要】

本技術は、場所打ちコンクリート杭の杭頭部（フーチング下端）から杭径の2倍以上の長さの所要の範囲の外周面に、JIS規格品である内外周面の平滑な鋼管を付加することによって、その部分の耐震性の向上を図る技術である。

【技術開発の趣旨】

本技術は、場所打ちコンクリート杭工法として既に確立されている技術を活用し、これの杭頭部外周に JIS 規格鋼管を付加することによって、曲げ及びせん断耐力の向上、変形性能の向上、および、設計自由度の増大を目的として開発されたものである。

本技術の利点として、以下の点が挙げられる。

- (1) 本工法を用いることで、杭頭の拡大や補強鉄筋の過密な配筋を行う必要がなくなり、杭頭拡大による排土量の増加や鉄筋増加に伴うコンクリートの充填性不良などの施工上の問題が生じにくい。
- (2) 本技術による施工方法は、従来の場所打ちコンクリート杭工法と大きく変わることはなく、本工法を採用することで施工及び施工管理の工程が従来の場所打ちコンクリート杭工法に比して煩雑にならない。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。申込者が提案する「SB耐震杭e工法（杭頭部鋼管巻き場所打ちコンクリート杭工法）設計・施工指針」に基づいて設計施工される杭頭部鋼管巻き場所打ちコンクリート杭は、設計で保証すべき短期許容水平耐力を有し、設計指針に規定している終局水平耐力を有すると判断される。

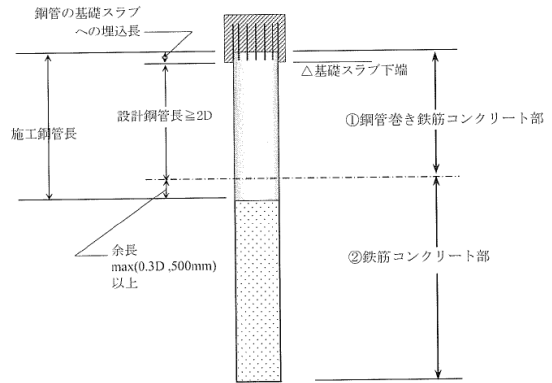


図1. 設計の基本的な考え方

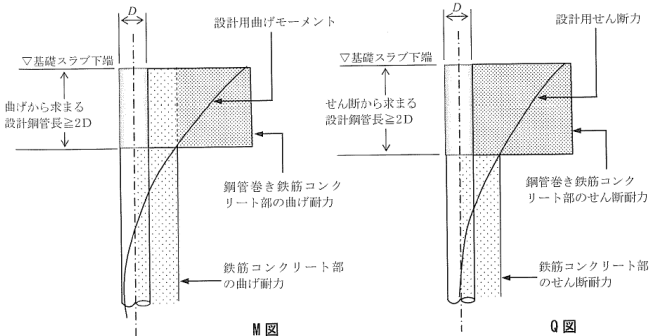


図2. 設計鋼管長

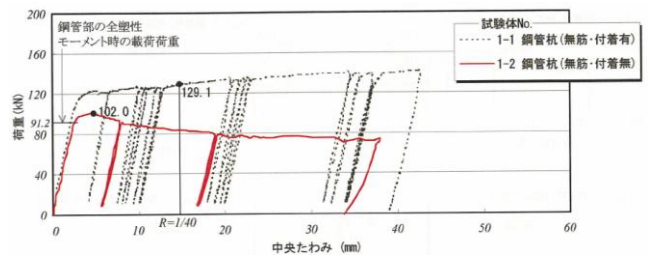


図3. (a) コンクリート鋼管の曲げ試験（無筋）

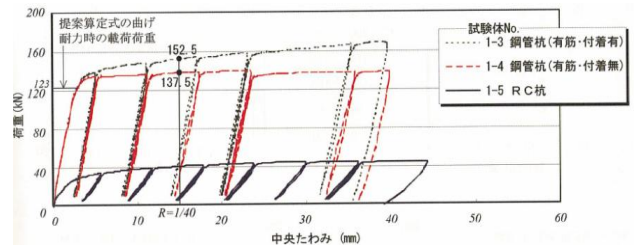


図3. (b) 鉄筋コンクリート鋼管の曲げ試験

【本技術の問合せ先】

地建工業株式会社 担当者：田中 理夫 E-mail：y-tanaka@tiken-kogyo.co.jp
 〒552-0011 大阪市港区南市岡 3-11-10 TEL：06-6582-7826 FAX：06-6582-7827